



< 消化器内科 >

概要

名古屋大学消化器内科学教室の協力のもと岡村、山田、北畠、山本が上下部消化管、浦野、内藤が肝臓、藤田が胆道・膵臓を担当し、

1. 消化器癌の早期X線・内視鏡・US 診断
2. 食道・胃・大腸腫瘍に対する内視鏡的治療の検討
3. 食道、胃、胆、膵疾患における超音波内視鏡(EUS)所見の検討
4. 消化性潰瘍の病態と治療
5. 大腸表面型腫瘍の診断と内視鏡的治療および病理学的研究
6. 炎症性腸疾患に対する内科的治療
7. 閉塞性黄疸に対する経皮経肝胆道ドレナージ(PTCD)および内視鏡的アプローチ—内視鏡的乳頭切開術(EST)、内視鏡的ドレナージ(ERBD)、内視鏡的乳頭バルーン拡張術(EPBD)、ステント挿入術、胆道鏡下採石術など—
8. ウイルス性肝炎の治療と長期経過観察
9. 肝癌の画像診断と内科的治療—肝動脈塞栓術(TAE)、経皮的ラジオ波焼灼療法(RFA)、リザーバーを用いた化学療法

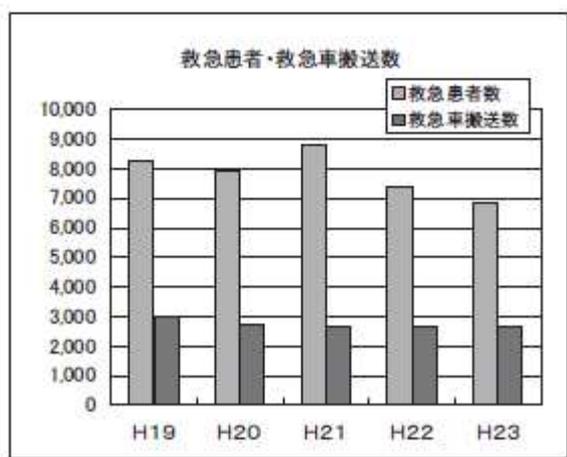
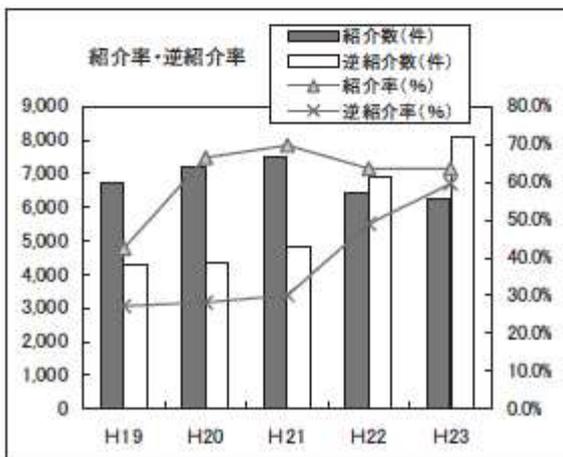
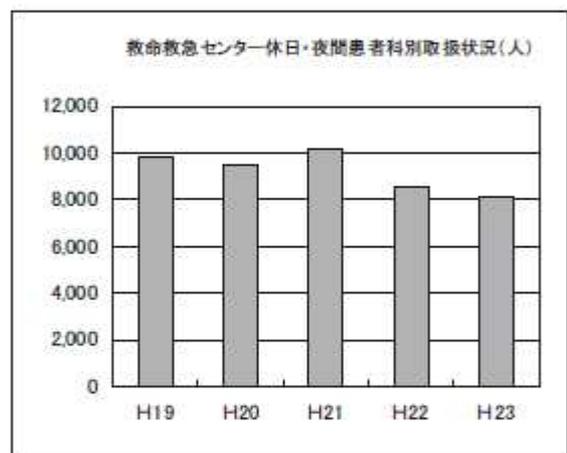
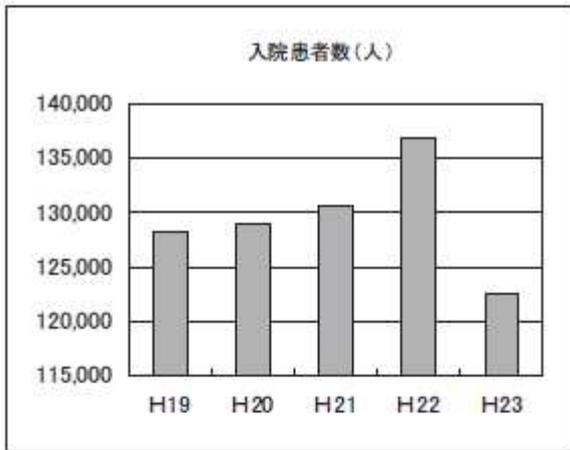
などを研究テーマとして診療に従事している。

この他、食道静脈瘤に対しては内視鏡的硬化療法(EIS)と結紮術(EVL)、胃・十二指腸潰瘍からの出血に対しては内視鏡的エタノール局注法とクリッピング法を積極的に行い救命救急医療に貢献しているほか、脳血管障害などによる嚥下困難患者に対する内視鏡的胃瘻造設術(PEG)の依頼にも随時対応している。

平成 22 年度の主な検査件数と治療実績は、胃X線検査 4525 件、大腸X線検査 752 件、胃内視鏡検査 6879 件、大腸内視鏡検査 3375 件、腹部エコー検査 8957 件、造影エコー検査 166 例、超音波内視鏡(EUS)検査 胃 86 件、胆膵 127 件、消化管超音波内視鏡下穿刺(EUS-FNA) 7件、PTCD ならびに関連手技 116 件、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP) 478 件、うち ERBD は 172 件行った。EST または EPBD 87 件、管腔内超音波検査(IDUS)を5件、腹

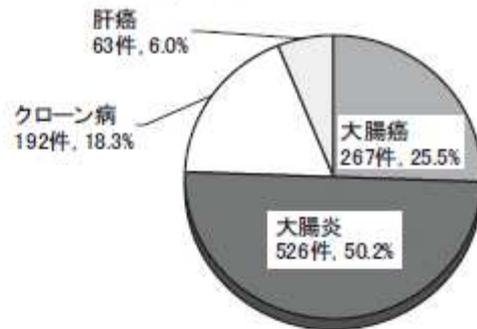
部血管造影 291 件などである。胃癌の治療には外科的切除が選択されることが多い。しかし、リンパ節転移の危険性がほとんどないとされる分化型の粘膜内癌に対しては、積極的に内視鏡的粘膜切除術(EMR)を行ってきた。近年、大きな病変でも一括切除が可能で、術後の病理学的診断が確実な内視鏡的粘膜下層切開剥離術(ESD)が普及しつつあるが、当院でも平成 18 年 10 月より内視鏡的治療の標準法としている。平成 22 年度は 110 件の ESD を行っており、計 448 件となった。大腸早期癌の治療も胃癌と同様に癌深達度が粘膜下層の浅層にとどまれば内視鏡的治療が原則である。当科では腺腫または深達度 sm1 の早期癌であれば、病変の大きさが 4cm まで本療法の適応とし、外来で治療している。平成 22 年度に発見した大腸癌総数は 268 病変で、そのうち ss ないし a1 以深の進行癌が 129 病変、mp 癌が 34 病変、早期癌が 105 病変(sm 癌 36 病変、m 癌 69 病変)であった。一方、炎症性腸疾患に関しては、平成 22 年末までに当科を受診した潰瘍性大腸炎は 506 例、クローン病は 185 例であるが、潰瘍性大腸炎についてはシクロスポリン療法を 47 例、顆粒球除去療法/白血球除去療法を 99 例、タクロリムス療法を 13 例経験した。クローン病に対しては抗 TNF- α 療法を 89 例に実施し良好な成績を得ている。1型、高ウイルス量の難治性 C 型慢性肝炎に対し平成 17 年 2 月から行っているペグインターフェロン・リバビリン併用療法は 322 例に達し、その著効率はおよそ 50%と良好な成績を得ている。一方で、それ以外の症例におこなっているペグインターフェロン単独療法では、50 例を超え、90%近くの著効率を得ている。肝癌の治療は 2cm 以下の病変には RFA を原則とし、2cm 以上の病変に対しては TAE+RFA、RFA が不能または困難な例では PEIT を施行している。多発例や門脈塞栓例には動注化学療法を行っている。リザーバー埋込みの 5-FU を主体とした従来のものに加えて新たにシスプラチンの動注化学療法も行っている。平成 22 年の新規肝癌発生は 73 例であった。肝癌に対する血管造影は 271 件で、そのうち 223 件に TAE、30 件のシスプラチン動注化学療法を施行。6 件に新たなリザーバー留置による動注化学療法を行った。RFA は 56 例、62 件に実施した。最近では手術不能な悪性胆道狭窄症例に対して患者の QOL 改善を目的としたステント挿入術が行われており、昨年は金属ステント(EMS)を経皮経肝的に 1 例、経内視鏡的に 5 例に挿入し高い減黄効果を得ている。

(浦野文博)



主な疾患数 (件)	
疾患名	件数
① 大腸癌	267
うちssないしal以深の進行癌	(117)
うちmp癌	(27)
うち早期癌	(123)
早期がんのうちsm癌	(28)
早期がんのうちm癌	(95)
② 大腸炎	526
③ クロウン病	192
④ 肝癌	63
計	1,048

主な疾患数 1,048件

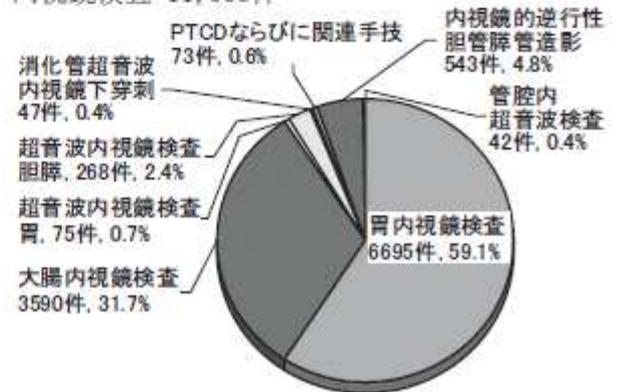


主な検査件数	
検査名	件数
① X線TV検査	
胃X線検査	4,088
大腸X線検査	583
② 超音波検査	
腹部エコー検査	8,760
造影エコー検査	254
③ 内視鏡検査	
胃内視鏡検査	6,695
大腸内視鏡検査	3,590
超音波内視鏡(EUS)検査 胃	75
超音波内視鏡(EUS)検査 胆膵	268
消化管超音波内視鏡下穿刺(EUS-FNA)	47
PTCDならびに関連手技	73
内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)	543
うちERBD・ENBD	(193)
うちEST・EPBD	(137)
管腔内超音波検査(IDUS)	42
④ 血管造影検査	
腹部血管造影	242

主な検査件数 25,260件

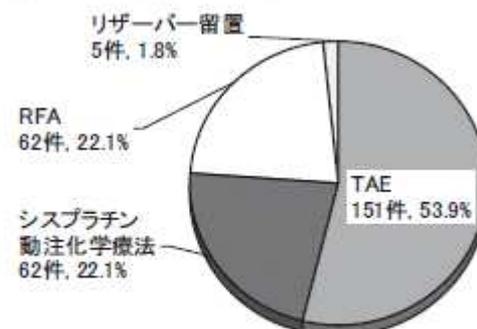


内視鏡検査 11,333件



治療実績	
疾患名/治療手技	件数
① 潰瘍性大腸炎	
顆粒球除去療法/白血球除去療法	106
シクロスポリン療法	51
タクロリムス療法	19
② クロウン病	
抗TNF-α療法	120
③ 胃癌	
内視鏡的粘膜下層切開剥離術(ESD)	134
④ 肝癌	
TAE	151
シスプラチン動注化学療法	62
RFA	62
リザーバー留置	5
⑤ 胆道狭窄症	
ステント挿入術	21

肝癌の治療件数 280件



業績

- 学会・研究会発表
- 座長
- 講演
- 論文

学会・研究会発表

1. アダリムマブを長期にわたって投与した2例
河合 学
第 90 回東三河消化器疾患研究会(豊橋)2011.1.12
2. EUS-FNA で診断を得て、手術を施行した GIST の1例
芳川昌功、大林友彦、山本英子、樋口俊哉、河合 学、山雄健太郎、北島秀介、
山田雅弘、内藤岳人、藤田基和、浦野文博、岡村正造
第 33 回東三医学会(豊橋)2011.3.5
3. 高濃度酸素療法が有効であった腸管気腫性嚢胞症の1例
三竹泰弘、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山田雅弘、北島秀介、山本英子、
河合 学、大林友彦、山雄健太郎、岡村正造
第 33 回東三医学会(豊橋)2011.3.5
4. 閉塞性黄疸で発症した IgG4 関連硬化性疾患(自己免疫性膵炎)の1例
廣瀬 崇、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山田雅弘、北島秀介、山本英子、
河合 学、大林友彦、山雄健太郎、樋口俊哉、岡村正造
第 33 回東三医学会(豊橋)2011.3.5
5. EOB・プリモビスト MRI で診断に至った肝細胞癌の1例
西 俊彦、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山田雅弘、北島秀介、山本英子、
河合 学、大林友彦、山雄健太郎、樋口俊哉、岡村正造
第 33 回東三医学会(豊橋)2011.3.5
6. ワークショップ 4. 炎症性腸疾患治療での生物学的製剤や免疫調整剤はこう使う！
クローン病に対する AZA/6-MP の使い方
岡村正造、山田雅弘、浦野文博
第 97 回日本消化器病学会総会(東京)2011.5.13～15

7. 専門医セミナー 症例②「大腸」
山田雅弘
日本消化器病学会東海支部第 114 回例会 (岐阜)2011.6.18
8. 特発性血小板減少性紫斑病を合併した潰瘍性大腸炎の一例
樋口俊哉、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山田雅弘、北畠秀介、山本英子、
河合 学、岡村正造
日本消化器病学会東海支部第 114 回例会(岐阜)2011.6.18
9. クロウン病に合併した直腸癌の一例
芳川昌功、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山田雅弘、北畠秀介、山本英子、
松原 浩、河合 学、樋口俊哉、岡村正造
日本消化器病学会東海支部第 114 回例会(岐阜)2011.6.18
10. UFT が著効した肝細胞癌切除後多発肺転移の1例
三竹泰弘、岡村正造、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山田雅弘、北畠秀介、
山本英子、松原 浩、河合 学、樋口俊哉、田中浩敬
日本消化器病学会東海支部第 114 回例会(岐阜)2011.6.18
11. 診断に苦慮した膵嚢胞内真菌症の一例
田中 卓、藤田基和、浦野文博、内藤岳人、山田雅弘、北畠秀介、山本英子、
松原 浩、河合 学、樋口俊哉、田中浩敬、岡村正造
日本消化器病学会東海支部第 114 回例会(岐阜)2011.6.18
12. PPI 投与にて内視鏡的に変化を示した Barrett 線癌の1例
豊橋医療センター消化器科:高田都佳、松下正伸
豊橋医療センター外科:浅田崇洋、武藤俊博、野村尚弘、岡本喜一郎、山下克也、
佐藤 健、市原 透
豊橋市民病院消化器内科:岡村正造
日本消化器病学会東海支部第 114 回例会(岐阜)2011.6.18
13. インターフェロン β , リバビリン併用療法の経験
河合 学
豊橋肝炎治療研究会(豊橋)2011.6.30
14. 増大傾向を認め、確定診断に苦慮した膵漿液性嚢胞腺腫の一例
藤田基和、浦野文博、山田雅弘
第 42 回日本膵臓学会大会(弘前)2011.7.29~30

15. 出血性消化性潰瘍・止血困難例の検討
田中浩敬
第 17 回酸と消化器疾患研究会 in 豊橋(豊橋)2011.9.20
16. 診断に苦慮したアルコール性肝硬変に伴う過形性結節の1切除例
西 俊彦、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山田雅弘、北畠秀介、山本英子、
松原 浩、河合 学、樋口俊哉、田中浩敬、岡村正造
日本消化器病学会東海支部第 115 回例会(名古屋)2011.11.26
17. 術前に膵内副脾を強く疑った一切除例
和田幸也、松原 浩、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山田雅弘、北畠秀介、
山本英子、河合 学、樋口俊哉、田中浩敬、岡村正造
日本消化器病学会東海支部第 115 回例会(名古屋)2011.11.26
18. Menetrier 病の1例
廣瀬 崇、浦野文博、北畠秀介、藤田基和、内藤岳人、山田雅弘、山本英子、
松原 浩、河合 学、樋口俊哉、田中浩敬、岡村正造
日本消化器病学会東海支部第 115 回例会(名古屋)2011.11.26
19. Infliximab の増量投与が著効したクローン病の1例
三竹泰弘、田中浩敬、樋口俊哉、河合 学、松原 浩、山本英子、北畠秀介、
山田雅弘、内藤岳人、藤田基和、浦野文博、岡村正造
日本消化器病学会東海支部第 115 回例会(名古屋)2011.11.26
20. シンポジウム2 炎症性腸疾患の診療における画像診断の役割 内視鏡検査が潰瘍
性大腸炎の治療法の選択と評価に果たす役割
山田雅弘、浦野文博、岡村正造
第 54 回日本消化器内視鏡学会東海地方会(浜松)2011.12.10
21. 6-MP40mg で長期寛解を維持しているクローン病の一例
南 貴之、岡村正造
第 54 回日本消化器内視鏡学会東海地方会(浜松)2011.12.10

座長

1. 座長 特別講演
岡村正造
第 90 回東三河消化器疾患研究会(豊橋)2011.1.12

2. 司会 教育セミナー①
山本英子
第8回豊橋がん診療フォーラム(豊橋)2011.1.20
3. 司会 特別講演
北島秀介
東三学術講演会(豊橋)2011.2.2
4. 座長 検討課題
浦野文博
第9回名古屋 Hepatitis セミナー(名古屋)2011.2.10
5. 当番世話人, 司会
浦野文博
第 22 回岐阜肝画像研究会(岐阜)2011.4.23
6. 司会
北島秀介
第6回 ESD 研究会 in 愛知(安城)2011.4.27
7. 座長 肝②
浦野文博
日本消化器病学会東海支部第 114 回例会(岐阜)2011.6.18
8. 座長 レクチャー, 特別講演
浦野文博
豊橋肝炎治療研究会(豊橋)2011.6.30
9. 座長 Session I
山田雅弘
第 17 回酸と消化器疾患研究会(豊橋)2011.9.20
10. 総合司会
浦野文博
豊橋市民公開講座(豊橋)2011.11.12
11. 座長
浦野文博
東三学術講演会(豊橋)2011.11.16

12. 座長 特別講演
北島秀介
第 14 回豊橋がん診療フォーラム(豊橋)2011.11.17
13. 座長 肝臓①
浦野文博
日本消化器病学会東海支部第 115 回例会(名古屋)2011.11.26
14. 座長 特別講演
浦野文博
第8回豊橋肝臓フォーラム(豊橋)2011.11.30
15. 座長 特別講演
浦野文博
東三河 EOB セミナー(豊橋)2011.12.6
16. 司会 シンポジウム2
岡村正造
第 54 回日本消化器内視鏡学会東海地方会(浜松)2011.12.10

講演

1. 教育セミナー②肝がんの診断と治療
内藤岳人
第8回豊橋がん診療フォーラム(豊橋)2011.1.20
2. 教育セミナー③胆道がんの診断と治療
藤田基和
第8回豊橋がん診療フォーラム(豊橋)2011.1.20
3. 平成 22 年度医療機関胃がん検診で発見された胃がん症例の検討
北島秀介
平成 23 年度医療機関胃がん検診講習会(豊橋)2011.2.19
4. レクチャー2. 下部消化管
山田雅弘
第7回名古屋消化器レジデントセミナー(名古屋)2011.3.5

5. AZA/6MP を中心としたクローン病の長期治療戦略
岡村正造
第 25 回東濃消化器懇話会(中津川)2011.7.2
6. 特別講演2 薬剤性潰瘍の予防と治療
北島秀介
愛知県病院薬剤師会東三河支部学術講演会(豊橋)2011.7.21
7. 炎症性腸疾患の薬物療法
山田雅弘
豊橋薬剤師会研修会(豊橋)2011.10.13
8. C 型肝炎ここまで進んだ最新治療 - C 型肝炎という病気について
内藤岳人
豊橋市民公開講座(豊橋)2011.11.12
9. 最近の肝がん治療について
内藤岳人
東三学術講演会(豊橋)2011.11.16
10. 胆道癌診療の現状—ガイドラインを中心に—
藤田基和
東三学術講演(豊橋)2011.11.16

論文

1. US-FNA で診断を得て、手術を施行した GIST の1例
芳川昌功、大林友彦、山本英子、樋口俊哉、河合 学、山雄健太郎、北島秀介、
山田雅弘、内藤岳人、藤田基和、浦野文博、岡村正造
東三医学会誌 第 33 号(2011 年 3 月)
2. 高濃度酸素療法が有効であった腸管気腫性嚢胞症の1例
三竹泰弘、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山田雅弘、北島秀介、山本英子、
河合 学、大林友彦、山雄健太郎、岡村正造
東三医学会誌 第 33 号(2011 年 3 月)
3. 異時性に顎下腺炎と自己免疫性膵炎を発症した IgG4 関連硬化性疾患の1例
廣瀬 崇、藤田基和、浦野文博、内藤岳人、山田雅弘、北島秀介、山本英子、
河合 学、大林友彦、山雄健太郎、樋口俊哉、岡村正造
東三医学会誌 第 33 号(2011 年 3 月)

4. EOB・プリモビスト MRI で診断に至った肝細胞癌の1例
西 俊彦、浦野文博、藤田基和、内藤岳人、山田雅弘、北畠秀介、山本英子、
河合 学、大林友彦、山雄健太郎、樋口俊哉、岡村正造
東三医学会誌 第 33 号(2011 年 3 月)
5. クロウン病発症から 15 年を経て Colitic cancer を併発した1例
豊橋市民病院:柴田佳久、岡村正造
日本大腸肛門病会誌 64 : 516-521, 2011
6. 定量的評価を用いた造影超音波内視鏡検査による膵癌と自己免疫性膵炎の鑑別診
断
松原 浩¹, 岡村正造¹, 浦野文博¹, 廣岡芳樹², 伊藤彰浩³, 川嶋啓揮³,
大野栄三郎³, 伊藤裕也³, 中村陽介², 平松 武³, 杉本啓之³, 鷲見 肇³,
宮原良二², 大宮直木³, 後藤秀実^{2,3}
¹ 豊橋市民病院消化器内科 ² 名古屋大学医学部附属病院光学医療診療部
³ 名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学
消化器内科 53(6) : 712-717, 2011

